



特集

道元禅師ものがたり

20



越前に来て一年半、ようやく新しいお寺が完成。「こここそ真の仏法が伝わる」と

宣言されました。

京の都から山深い越前に入られた道元禅師。厳しくも静寂に満ちた日々の中で、思索はいよいよ深まってゆきます。入越後一年半にわたって、吉峰寺と禅師峰寺の間十五キロを往復しながら、説法を行い、弟子の教化に努めてきました。この時期に『正法眼蔵』の三分の二ができあがり、道元思想の骨格が明らかになったのです。

最初は「大仏寺」と命名

その頃、道元禅師の庇護者である波多野義重や在俗の弟子の覚念らによって、新しいお寺の建立が計画されていました。

寛元二年(一二四四)二月、住職が説法を行う法堂の造営工事に着手。四月には上棟式が行われました。七月には入山式が催され、「傘松峰大仏寺」と命名されました。九月には法堂の完成を祝って開堂の大法会が修されました。雲水が修行する場である僧堂の建立も計画され、十一月には上棟式が行われました。これらの建築を指揮した棟梁は、道元禅師について中国から渡って来た玄之でした。

寛元二年(一二四四)二月、住職が説法を行う法堂の造営工事に着手。四月には上棟式が行われました。七月には入山式が催され、「傘松峰大仏寺」と命名されました。九月には法堂の完成を祝って開堂の大法会が修されました。雲水が修行する場である僧堂の建立も計画され、十一月には上棟式が行われました。これらの建築を指揮した棟梁は、道元禅師について中国から渡って来た玄之でした。

寛元四年(一二四六)六月十四日、大仏寺を「永平寺」と改名しました。仏教がインドから中国に初めて伝えられた後漢の年号「永平」から名付けられたのです。この日道元禅師は、お釈迦様が誕生された時の言葉「天上天下唯我独尊」にならって、「天上天下当処永平」といわれました。「ここ永平寺こそお釈迦様からの真の仏法が伝わる」と宣言されたのです。

No. 45
2015 Summer

山南寺 松山 臨南

永平寺の修行の設備が整うにしたがい、道元禅師の徳を慕って、多数の修行僧が参集してきました。道元禅師は、中国の禅寺の共同運営の方式にならって、永平寺の役職を決め、弟子たちに役職を務めながら修行する大切さと心得を説きました。例えば、監寺は寺院経営の責任者、副寺は会計係、維那は修行の取りまとめ役、直歳は建物、資材、山林、田畑の責任者を指します。これは今も多くの禅宗寺院に受け継がれています。

正月の説法に五色の雲

この年、道元禅師は鎌倉に招かれて、時の将軍北条時頼と面会することになります。その話は次回といたしましょう。

八月はお盆、九月はお彼岸 ご家族そろってお参りください

九月はお彼岸です

八月はお盆の季節です。十日と十二日には、臨南寺の墓地でお墓経を勤めさせていただきます。十日は午前十時から正午まで。十二日は午後五時から九時まで。どちらかご都合のよい日に承ります。

十二日は、臨南寺の本堂前で弁財天万灯会を催します。午後六時から九時まで、本堂前はろうそくの揺らめく灯りに包まれます。

弁財天様への献灯をご用意していますので、願い事を書き入れて、本堂前にお供えいたしましょう。万灯会はお盆の迎え火でもあります。ご先祖様や亡き人へのご供養とともに、皆様の願い事もご祈祷させていただきます。

十六日には、盂蘭盆会施食会を修します。各家の精霊を、ご回向させていただきますので、ぜひご家族そろってお参りください。お参りできない方は、不参にてご回向をお受けいたします。



8月12日、臨南寺の本堂前は幻想的な雰囲気包まれます。

九月は、二十日に写経会を行います。二文字二文字に心を込めるお写経にはさまざまな功德があります。ご先祖様を供養し故人の冥福を祈り、あわせて浄福を授かります。そして何よりあなたの心を落ち着かせてくれます。

二十五日には、彼岸会施食会を修します。ご先祖様をしのび、ご家族の幸せに感謝いたしましょう。ご家族そろってお参りください。

出会いの「ご縁」に導かれて

谷 俊宏



今年の二月から臨南寺にて役僧としてお世話になっております。谷俊宏と申します。

北海道はニシン漁で有名な増毛で生まれました。大阪には今まで何のつながりもありませんでしたが、このたび、大澤正道住職に「ご縁」をいただき、この地にやってきました。

納所のお話しをいただいた当初は、本山での修行を終えたところだ、「地元に戻ろうか」と思っておりました。しかし、以前に本山のある老師からいただいた「出会い

が人を創る」という言葉に背中を押され、せつかくいただいた貴重な出会いの機会を大切にしたいと思ひ、大阪行きを決断させていただきました。

人との出会いは、本当に素晴らしい、尊いものです。人は一人では生きてはゆけません。非常に多くのことを先人や周囲の人々から学んで成長してゆきます。かの道元禅師も例外ではなく、はるばる宋に渡り、天童如浄禅師との「出会い」によって、曹洞宗をお開きになり、「我逢人」という言葉さえお遣しになりました。

今回、大澤住職よりいただいた「ご縁」をきっかけに、お檀家様をはじめ、「ほろっと」をご覧になっている皆様とも「ご縁」をつなげていけたらと思っております。これからもよろしく願ひします。

今年から来年にかけての 大切な行事をご案内いたします

今年、大本山總持寺の二祖・

峨山禪師様の六五〇回大遠忌

にあたります。大本山總持寺で

は十月七日から二十日まで、「二

祖・峨山韶碩禪師六五〇回大遠

忌法要」が執り行われます。そ

の十月十二日の法要において、は

からずも焼香師の大役を拜命い

たしました。全国の曹洞宗僧侶

の中から選任され、貫首猊下の

命を受け大法要の導師を務め

させていただくものです。ご本山

にて報恩の香を薫ることがで

きますことは、僧侶として無上

の喜びであります。

さて、来年は先代住職の渡邊

剛毅老師の十三回忌を迎えます。

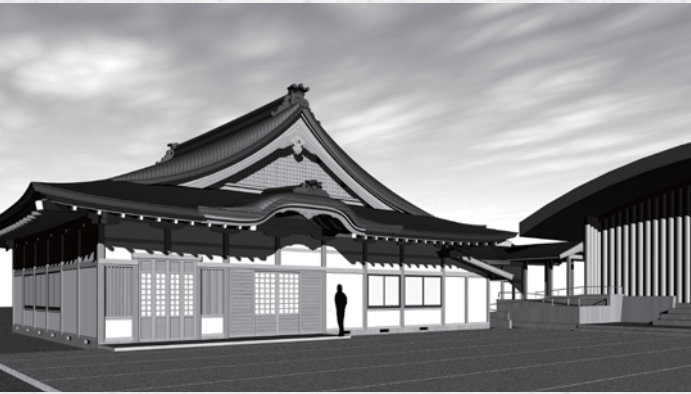
早いもので先代の後を受け継い

で十二年が経ちます。昨年より

工事を行っております山門と客

殿も、来年四月には完成する予

定です。これも皆様の一方ならぬ



来年4月に完成する客殿の完成予想図

し上げます。

そこで来年六月、先代の渡邊

剛毅老師の十三回忌法要、並び

に山門・客殿の落慶法要を修行

いたします。

それに際し、大本山總持寺よ

り江川辰三貫首猊下にご来山い

ただき、報恩大授戒会を修行さ



臨南寺 住職
大澤正道

せていただくことになりました。

お授戒会とは、お釈迦さまから

脈々と伝えられ受け継がれてき

た教えを皆様が授かる儀式です。

五日間ご一緒にお経を唱え、お説

教を聞き、仏様に礼拝する修行

を通して、清浄な身と心になつて

いただき、仏様の教えを受け継い

だ仏弟子となる、曹洞宗におい

て最大かつ最重要の法要です。

臨南寺では、昭和六十二年以來、

実に三十年ぶりの大法要になり

ます。どうぞ、このまたとない得

難い大法要にご参加いただき、尊

い仏縁を結んでいただきたくと心

台掌

臨南寺行事予定（八〜九月）

○お墓経

*八月十日

午前十時〜正午 受付は午前十二時半まで

*八月十二日

午後五時〜九時 受付は午後八時半まで

どちらかご都合のよい日にお越しください。臨南寺に墓地をお持ちの方に限ります。

○弁財天万灯会（本堂）

*八月十二日 午後六時〜九時（献灯時間）

ご祈禱は、一回目午後六時半〜二回目午後八時〜受付は八時まで

あらゆる願いを叶えてくださる弁財天様に、願いを託して献灯をなさいませんか。お盆の迎え火としてご献灯いただけます。どなたでもご参加いただけます。

○孟蘭盆会施食会（本堂）

*八月十八日

午前九時〜午後一時 受付は十二時半まで

お盆供養の法要を行います。

各家のご先祖様とご縁の深い精霊のご供養をいたしましょう。

どなたでもご参加いただけます。

○お彼岸写経会

*九月二十日 午前十時〜午後三時

お写経は大本山總持寺に納経いたします。寺務所で受け付けております。

お気軽にお申し付けください。納経料千円

○彼岸会施食会（本堂）

*九月二十六日

午後一時〜三時 受付は二時半まで

お彼岸供養の法要を行います。お彼岸はご先祖様に感謝しわが身を省みる大事な期間です。

ご先祖様をしのび今あることに感謝いたしまし

しょう。どなたでもご参加いただけます。

○お願い

○本堂改修工事

*十月二日〜十月三十日

この期間、本堂は改修工事のため使用できません。ご不便をおかけしますが、よろしくお願

マトリ合同法要

震災を通じ学んだ仏さまの教え

五月十日(日)午後二時から、がっしょう園マトリの合同法要が営まれました。法話は宮城県石巻市湊の法山寺副住職の北村暁秀老師です。「大澤住職とは總持寺で一緒に修行した仲です」という老師。お寺は石巻港を見下ろす高台にあり、四年前の東日本大震災では大津波がお寺の七十メートルまで迫ったそうです。着の身着のまま、命からがら逃げ込んで来た五百三十人の被災者の方々を受け入れ、自費で三か月間避難生活を支えられました。

そんな過酷な経験の中で得られた言葉です。「この世は常に移ろい変化していく」「二人はみんな、みんなは二人」「散る桜 残る桜も散る桜」「公園に押し寄せたガレキの中でも桜はしっかりと根を張り凜と咲いていた。被災者は桜に自分を重ねた」「たくさんの命が失われた。その悲嘆はいつか感謝に変わり、精一杯生きようと変わっていく。仏教の素晴らしさを再認識できた」

法話を聞いたあとはマトリに移り、読経が続くなかご焼香していただきました。お墓の継承が難しい時代、永代供養のマトリへ申し込まれる方が増えています。



法山寺副住職の北村暁秀老師

お釈迦様の誕生日を

祝いました

四月八日(水)釋尊降誕会が開催されました。お釈迦様は、インド北部のルンビニという花園でお生まれになりました。誕生された時、天から龍が舞い降り、甘露な産湯を注いだと伝えられます。それによんで、本堂に誕生仏を安置して、参列者に甘茶を注いでいただきました。皆様にも甘茶が振る舞われました。



お子様も一緒に楽しい花祭り

墓苑をご利用の皆様へ

- 手桶を花立て代わりに使わないでください。ご使用後は必ず元の場所へお戻しください。
- お墓参り以外での駐車はご遠慮ください。境内では最徐行をお願いいたします。駐車中の事故等は一切責任を負いかねます。
- ペットを墓苑内に連れて行かないでください。
- お供物は、カラスなどに荒らされる原因となりますので、各自お持ち帰りください。
- トイレにはトイレトーパー以外を流さないでください。ティッシュペーパーは水に溶けません。ウエットティッシュや紙オムツも絶対流さないでください。

編集後記

グライ・ラマ法王も力説されたように、力でムリやり相手を抑え込もうとするよりも、思いやりとやさしさで話し合いに持ち込むほうが、日本も世界も平和になっていくのではないのでしょうか。ご感想をお寄せください。(M)

お気軽にご参加ください

早朝坐禅会

毎月第一土曜日

午前六時半～ 本堂にて

*二月・八月は、お休みさせていただきます。本年度は本堂改修工事のため十月・十一月もお休みさせていただきます。

写経会

毎月二十日

午前十時～午後三時

写経料・千円

*いずれも事前のお申し込みが必要です。

「ほ～っと」45号

平成27年7月

編集・発行： 稜伽林「ほ～っと」

編集室

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-32

☎ 0120-667-638

TEL 06-6698-1001

FAX 06-6697-3330

Eメール：rinnanji@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.rinnanji.com